

# Interface

MIYUKI HOSPITAL MAGAZINE

インターフェイスとは「つなぐ部分」のこと。この広報誌を皆様とのつながりのまっかけにしていきたいと考えています

御幸病院広報誌  
【インターフェイス】



2011.  
Autumn

Vol.16



## ●特集

経験豊かな専従スタッフが、  
ご自宅の患者様を支える訪問リハ

●みゆきの里 夏祭り

●ドクターズコラム

●和楽ってこんなところ! ●今後の行事予定

●ニュースリリース ●担当医表



医療法人 博光会 理事長

富島 三貴

Miki Tomishima

## ごあいさつ

インターフェイス第16号をお届けいたします。

今回は御幸病院リハビリテーション室の訪問リハビリテーションをご紹介します。みゆきの里においては、訪問看護ステーション「みゆきの里」が3人の理学療法士を擁し、御幸病院リハビリテーション室でも2008年より、訪問リハビリテーションスタッフ4名の体制で、ご利用者様の在宅でのリハビリをお手伝いしています。

御幸病院の回復期リハビリテーション病棟を退院され、在宅で療養されている方の中には、通院によるリハビリの継続が難しく、ご自宅でのリハビリテーションを必要とされている方が数多くおられます。そういった方々に、こちらから訪問してリハビリテーションを実施することにより、患者様のニーズに応えると共に、入院時から在宅まで途切れないシームレスなケアの提供に繋がっているのではないかと思います。患者様のニーズとご家族の要望を踏まえ、地域に出かける医療に今後も一層力を入れていきたいと思っています。

御幸病院リハビリ室の、訪問リハへの取組みの一部をご覧ください。

### みゆきの里グループ

- ◆軽費老人ホーム 富貴苑
- ◆レストラン ビオサルーテ

- ◆ケアハウス ピオニーガーデン
- ◆特別養護老人ホーム みゆき園

- ◆ウェルネススクエア 和楽
- ◆小規模多機能ハウス ほがらか

- ◆介護老人保健施設 ぼたん園
- ◆グループホーム ほがらか

# 経験豊かな専従スタッフが、 ご自宅の患者様を支える訪問リハ

## まずは顔を合わせることで 信頼関係を築く

御幸病院の訪問リハビリテーションには現在、理学療法士(PT)2名、作業療法士(OT)1名、言語聴覚士(ST)1名が在籍しています。利用者様は、自院の回復期リハビリテーション病棟から退院された方のほか、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターからのご紹介を頂き、ご自宅に訪問をしています。中園健太郎訪問リハビリテーション主任は、「外部からのご紹介の場合は、まずはしっかりと利用者様の状態を確認することから始まります。ケアマネージャーと一緒に自宅に伺い、



どこにどんな支援が必要であるかを見極めた上で、利用者様のご意向を踏まえて行っていきます。また、当院の回復期リハビリテーション病棟からの退院者の方は、入院時に顔合わせを行いまして入院中の治療内容や問題点等を確認することで、スムーズな訪問リハビリテーションの実施につなげています」と語ります。まずは、患者様とご家族との信頼関係を築くことが重要です。

## 患者様のご希望と個性に合わせた リハビリテーション

御幸病院の訪問リハビリテーションチームは、最低7年の臨床経験があるスタッフで構成されています。「院内のリハビリテーションとは違い、訪問先で利用者様の急変等に即座に対応できることが必要であるため、経験のあるスタッフを置いています。また、利用者様の精神面を支えることも重要であり、人間性を含めた対応が出来る人材を選出しております」と黒土達也リハビリテーション室長は語ります。また、スタッフにSTが在籍している訪問リハビリテーション施設は熊本県下でもまだ少なく、運動機能のリハビリテーションに加え、コミュニケーション機能もカバーできることが大きな特長の一つです。

その上、訪問リハビリテーションスタッフは専従で対応しており、ご相談に対して迅速に対応出来る体制が整えられています。「相談をされる時点で、すぐに来てほしいと思っておられる場合が多いので、専従体制により

M i y u k i n o s a i o



毎日、関連機関やご利用者の元へ伺います。



訪問先でのリハビリの様子



月1回、スタッフでミーティングと勉強会を行っています。

## 御幸病院 訪問リハビリテーション からのご挨拶



御幸病院リハビリテーション室  
訪問リハビリテーション主任

中園 健太郎

御幸病院リハビリ室で訪問リハビリテーションを開始して、今年で4年目になります。その当初から比べると、この4年間でご利用者も大きく増え、日々多忙ながらも充実した業務に取り組んでおります。これもひとえに、在宅支援にご協力して頂いている医療機関の先生方、地域のケアマネージャーの方々のお陰であり、この場を借りて、厚くお礼申し上げます。そしてもちろん、ご利用者とそのご家族の方々におきましては、御幸病院の訪問リハビリテーションサービスを選んでいただき誠にありがとうございます。

リハビリ室の訪問リハスタッフは現在、理学療法士2名、作業療法士1名、言語聴覚士1名の計4名です。主に熊本市南部地域を中心に、それぞれがご利用者のご自宅に伺って、リハビリテーションを実施しています。サービス実施においては、スタッフが単独で訪問し実施することになるので、責任も重大ですが、かかりつけ医の先生や担当のケアマネージャーの方々と日々連携を取りながら、ご利用者お一人お一人のライフスタイルに合わせた個別性の高いリハビリテーションを提供し、生活に潤いを与えられるように日々努力いたしております。

厚生労働省の地域包括ケア構想推進に伴い、ご自宅で療養生活を送られる高齢者や、回復期リハビリテーション病棟を退院後、在宅復帰された患者様に対する訪問リハビリテーションの役割は、今後ますます重要になってくると思われまます。御幸病院の訪問リハビリが、今後熊本市南部地域の訪問リハビリテーションの中心的役割を果たせる様、今後も精進を続けて参りたいと思います。

これからも、御幸病院リハビリ室の訪問リハビリテーションを、どうぞよろしく願いいたします。

ご利用者様のご希望に合わせやすいのです」と中園主任は語ります。相談があった場合は、すぐに中園主任が対応出来るシフトが組まれています。

PTでは、呼吸器疾患、疼痛管理の必要な方や歩行障害のある方に対して、積極的に関与することで改善を図っています。また、OTではご利用者様の趣味的活動を通じて意欲を向上させることで、精神と身体の両方の活動性を高めることが出来るリハビリテーションを行っています。中園主任は「例えば書道展への出店を目指すなど、ご利用者様の趣味などから具体的な目的やゴールを設定することで、“何かしよう”“出かけていこう”等の意欲を高めまます。ご利用者様に合わせた個別性を重視し、生きがいを創り出す作業療法を行っています」と語ります。

## 地域とのつながりを強化して、 訪問リハビリテーションの拠点になる

2008年4月に訪問リハビリテーションが本格稼働をして以来、訪問リハビリテーションチームは地域へのご挨拶や広報活動、講師活動などをして、“顔の見える関係”作りを注いできました。今後は、訪問リハビリテーションスタッフを増員して、対応できるご利用者様を2倍にする予定です。熊本市南部地域での訪問リハビリテーションと言えば「御幸病院」であると言われるように、日々精進しています。また、地域の老人会や自治会での健康教室、ご利用者様の会やご家族の会を支援し、地域とのつながりを強化していきたいと思っています。地域のリハビリテーションの拠点となる日が、もうそこまで来ています。

## 統合医療 —みゆきの里の取り組み—



御幸病院顧問  
老人保健施設ぼたん園施設長  
日本東洋医学会指導医・名誉会員

江頭 洋祐

### アロマ(香り)が認知症の予防に効く

今年9月に鳥取で認知症予防学会があり、私も参加してきました。その学会では、いろんな認知症(もの忘れ)の予防への取り組みが発表されていました。私が特に興味を持ったのは、アロマ(香り)で認知症の予防をするという、鳥取大学保健学科の浦上教授らの発表でした。嗅覚が人間の認知症に深く関わっていることが分かったそうです。

使用するアロマエッセンスは、昼かレモンとローズマリー(カンファー)の混合液で、香り袋を下げたペンダントや室内の造花などに噴霧して、香りを吸うことで匂いに反応する脳の神経回路が活性化され、記憶や判断力を向上させる効果が出るそうです。夜には枕などに眞性ラベンダーとスイートオレンジのエッセンスを噴霧して、快適で深い睡眠を誘い、疲れた脳を回復させる効果を狙ったものです。

研究の結果では、それらの香りを好ましいと感じる人では脳の機能の改善や維持が確認できるというデータが示されていました。最近では認知症予防の新薬が4種類出揃いましたが、日々の暮らしの中で、アロマによる認知機能の改善や維持を試みるのも、優雅でナチュラルでいいなと思います。

※受療ご希望の際は予め電話で予約をお願いします。

090-4358-1225

# みゆきの里 夏祭り



8月3日、第23回目となる、みゆきの里夏祭りが開催されました。今年は例年を上回る2,000人以上の方々に来場していただき、大盛況となりました。

午後6時15分、軽費老人ホーム富貴苑・ケアハウスピオニーガーデン施設長の富島ヨシによる開会の挨拶に始まり、みゆきの里の職員による盆踊り、御幸保育園の園児の皆さんによる和太鼓の演奏、笛田神社の巫女舞、こぼと保育園・リズム幼稚園合同での園児の皆さんによるよさこい



ソーラン節、子供空手教室・拳希会の生徒さん達による空手の演武、御幸ハッピークラブによる踊りなど、様々な演目が披露されました。

また今年はサプライズゲストとして、熊本県のキャラクターであるくまモンが登場

した。くまモン体操をステージ上で披露し、ご来場のお子様から保護者の皆様まで、会場は大興奮の渦に巻き込まれまし

た。くまモンにはこの後のプログラムでも再登場していただき、盆踊りや小学生ラムネ早飲み大会等にも参加していただきました。

途中、医療法人博光会理事長・富島三貴から主催者挨拶が行われ、また沢田一精・元熊本県知事をはじめ、園田博之衆議院議員・大西一史県議会議員といった議員の皆様や、御幸校区社会福祉協議会の緒方会長ら、来賓の方々にも舞台上でご挨拶を頂きました。

この間、みゆきの里職員の手による夜店も大盛況。焼きそばや地鶏の炭火焼き、フライドポテトなどの食べ物の店や、射的・金魚すくいなどのゲームコーナーは大変な人気で、早々と売り切れの店も出ていました。

最後に、御幸病院の吉田院長の閉会の挨拶で、夏祭りは一旦締めとなり、最後には来場者の皆様お待ちかねのお楽しみ抽選会です。富島理事長と吉田院長が当選番号の書かれたくじを引く度に、あちこちから歓声と落胆の音が響いていました。

みゆきの里では、毎年恒例のこの夏祭りを、地域の皆様との得難い交流の場、地域への親善・貢献の機会と捉えております。来年もまた、多くの皆様方にご来場いただけることを、今から職員一同楽しみにしております。



## Doctor's COLUMN ドクターズ コラム 患者様の『今』を充実させるために



医療法人加来会  
慶徳加来病院 副院長

加来 以久子 先生

慶徳加来病院  
〒860-0017  
熊本市練兵町98  
TEL:096-322-2611

交通センターの近く、熊本市の中心部で内科を開業しています。

私は県外の人間で、大学の医局の先輩だった夫のところへ押しかけ婚をして熊本の住人となりました。明日に結婚式を控えた土曜日の午後、「一緒においで」と言われて数件のお宅への往診に付いていったのが私の往診初体験でした。熊本弁同士の会話がちっとも聞き取れなかったこと、「明日嫁さんになる人です」と、患者さんやご家族に紹介されてとても気恥ずかしかったことなどが記憶にあります。以来20年余、細々とはありますが訪問診療に携わって来ました。

自院では訪問看護ステーションやヘルパーステーションを持たないため、患者さんのお住まい、それまでの介護スタッフとの関わり、紹介元などの関係でその都度いろいろな方々とチームを組んで在宅療養を支えることとなります。新たな出会いには刺激が多く、患者さんにも、患者さんに関わる様々な職種の方々にも多くのことを学ばせていただいています。

御幸病院のリハビリテーション室とのご縁もそのひとつで、ある患者さんの訪問リハビリテーションをお願いして3年を過ぎました。両膝の術後、某病院でのリハビリ入院を経てケアハウスに入居された80代

の女性ですが、軽度の認知症があり、一方でプライドの高い方で、通所のリハビリに馴染まれずに徐々にADLの低下を来たしていました。そこで御幸病院から週1回の訪問リハビリに来ていただくようにしたところ、非常に積極的にリハビリに取り組みされるようになりました。更に、長谷川式知能スケールが20点から25点へアップする、というおまけもつきました。これは理学療法士のN先生の患者さんのキャラクターに合わせた親身の指導の成果、意欲向上の陰には若くてハンサムな先生への淡い恋心なんぞも有るのではないかと、ご家族やケアマネージャーさんと喜んだものです。

高齢者の診療は若い方とは異なり「加齢」という下方ベクトルに本人や周囲の努力が相殺されることがしばしばです。この患者さんも、認知症が進行したり、体調を崩されたりと、安定的な状態を保つことが難しい時期に入って来ました。遠くない将来、私もN先生も、リハビリを頑張ったことも彼女の記憶から抹消されてしまうかもしれません。でも、私達との関わりが彼女の『今』を確実に充実させているのだ、と信じて、また、彼女を通じての御幸病院との出会いが次の新しい出会いを生むであろうと期待しつつ、これからもお付き合い願いたいと思う次第です。

# 特集 和楽 WAKARU って

ウェルネススクエア

## こんなところ!

Vol.16



### 南部公民館で野菜スイーツづくり

熊本市川尻町の南部公民館が主催する料理教室が9月3日(土)に開かれ、和楽・田園キッチンの東島料理長と鶴本パティシエが講師として招かれ、季節の野菜を使用した体に優しいス



weetsの作り方について講演いたしました。

当日の教室では、まず東島料理長が体によい食事について講義を行い、砂糖の摂りすぎによる弊害や地産地消・旬の食材の重要性、マクロビオティックの考え方などについて話しました。そして一緒に作ってみようということで、教室に参加された皆さんと実際にスイーツづくりにチャレンジ。完成した野菜スイーツは、最後に皆さんと一緒においしくいただきました。

この項には、教室で実際に製作した「かぼちゃのモンブラン」と「りんごジュース寒天ゼリー」のレシピを掲載しておりますので、皆さんも是非ご自分で作られて、体に良くおいしいスイーツを実感されてください。



### 田園キッチンの料理教室

#### “かぼちゃのモンブラン”



材料

- スポンジ
- ホットケーキミックス …… 200g
  - 水 …… 180cc
- クリーム
- かぼちゃ …… 300g
  - 豆乳 …… 大さじ2
  - オイル …… 大さじ1
  - 仕上げ用メープルシロップ… 50cc
  - お好みでシナモンパウダー

レシピ

- 1.スポンジを作る。ボールにホットケーキミックスと水を入れよく混ぜあわせ炊飯器の内釜に入れスイッチオン
- 2.クリームを作る。かぼちゃの皮をむいて2cm角に切り蒸す(蒸し器が無い場合は電子レンジで柔らかく煮えるまで加熱する)
- 3.かぼちゃに火が通ったらフードプロセッサーに入れオイル、豆乳を入れ混ぜる。かぼちゃの甘さが足りなければ砂糖やメープルシロップなどを加えてよい
- 4.クリームはバットやお皿に広げて冷蔵庫で冷やす
- 5.スポンジができたら乾かないようにラップで包み冷めるまで待つ
- 6.スポンジとクリームが冷めたらスポンジを横から切り2枚にしてメープルシロップを含ませ、クリームをサンドし上面に残りのクリームでデコレーションする

#### “りんごジュース寒天ゼリー”

材料

4人前

- りんごジュース …… 400cc
- 粉寒天 …… 2g

レシピ

- 1.りんごジュースと粉寒天をよくかき混ぜ、寒天がよく水分を吸うまで置く
- 2.鍋にいれ加熱する。沸騰直前になったら火を止める
- 3.グラスなどに流して冷蔵庫で冷やす

### ウェルネススクエア和楽の今後の予定

●10月6日(木)

東雲座 秋の宴 in 和楽  
和楽で甦る熊本のお座敷文化  
18:30~食事 19:30~演奏

●10月8日(土)

地域密着型サービス研修会「食支援について」  
(主催:宅老所・グループホーム連絡会 教育部会)  
18:00~20:00 東島料理長講演「食は命なり」  
~食を通しての健康づくりの提言~

●10月~

田園キッチン・東島料理長の「食の学びや」  
食事バランスなど食と健康に関する講演

8月3日 みゆきの里夏祭り

■ 担当医表 Charge medicine table

		月	火	水	木	金	土
第1 診察室	午前		江頭				
	午後					江頭	
第2 診察室	午前	津出	吉田	山浦	川野	吉田	担当医
	午後	高木	本田	高野	高野 金場★	津出	
第3 診察室	午前						
	午後			和田山			
鍼灸 治療室	午前	長尾			長尾		
	午後		長尾		長尾		
歯科室 1	午前	田川	田川	田川	田川	田川	田川
	午後	田川	田川	田川	田川	田川	
歯科室 2	午前		新井	西原 西俣※	見立		
	午後		新井	西原 西俣※	見立		

● 王研究員の漢方相談…毎週水曜日の午前・午後、毎週木曜日の午後  
※不定期 ★第1・3・5(木)午後:高野、第2・4(木)午後:金場

吉田院長・津出診療部長・川野内科医長 本田医師・高野医師・高木医師・山浦医師	内科を中心として、 種々の診療を担当します。
磯貝ホスピス医長・鈴木医師	緩和ケア病棟を担当します。
江頭医師	呼吸器・アレルギー疾患・ 心療内科を担当します。
和田山医師	整形外科を担当します。
田川歯科医師	歯科を担当します。要予約です。
新井歯科医師 見立歯科医師	口腔外科・顎関節症・歯科を 担当します。要予約です。
西原歯科医師 西俣歯科医師	審美歯科・インプラント・歯科相談 を担当します。要予約です。

● リハビリテーションの担当医/川野、吉田、津出、高木  
● 緩和ケア入院相談/月～土 8:30～17:30(随時)  
相談窓口/医療連携室

御幸病院健康教室開催

9月17日(土)、ウェルネススクエア一和楽3F研修室2において、御幸病院健康教室が開催されました。この教室は御幸病院の地域貢献の一環として、健康についての様々な講座を無料で提供しているものです。

今回の健康教室のテーマは、「高齢者の脱水について～熱中症、夏場・冬場の脱水～」について。御幸病院薬局からお願いして、大塚製薬の松井正彦さんに講師としておいで頂きました。

当日は地域の皆様をはじめとして、みゆきの里各施設のご利用者の方々や職員が参加。残暑の厳しい中、まだまだ気を抜けない熱中症予防についてや、これからの冬場での脱水の危険性などについての松井さんのお話に、参加された皆様は熱心に聞き入っておられました。

御幸病院はこの健康教室を、年3回定期的に行っております。今後もこうした活動を通じ、地域の皆様の健康づくりに貢献していきたいと考えています。



私たちは、地域の人々、利用者ご家族の幸せを願い、保健・医療・福祉の総合力を発揮して、健康生活のベストパートナーとなることを目指します。



医療法人博光会

御幸病院

【診療科目】

内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・漢方内科・リハビリテーション科・心療内科・アレルギー疾患内科・小児科・歯科・麻酔科(ペインクリニック) [医師:岡崎止雄]

【診療受付時間】

平日 午前8時30分～午後5時  
土曜 午前8時30分～午後12時

※但し急患は何時でも受け付けます。



- 緩和ケア病棟: 20床
- 一般病棟: 30床
- 回復期リハビリテーション病棟: 85床
- 医療療養型病棟: 51床
- 併設: 訪問看護ステーション「みゆきの里」

発行/医療法人博光会 御幸病院  
〒861-4172 熊本市御幸苗田6-7-40  
TEL.096-378-1166 FAX.096-378-1762  
メールアドレスinfo@miyukinosato.or.jp  
編集/株式会社 談

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.miyukinosato.or.jp/>